

非日常の風景楽しんで

30、31日 岡山で関連イベント

電車内にスクリーン10（11月7日まで）をつるし、窓に取り付けたレンズから外の風景を映して楽しむ「電車カメラ」が30、31日の岡日、岡山市中心部を走る路面電車で行われる。

30日に開幕する国民文化祭・おかやま2010法人ハート・アート

・おかやまが、岡山電気軌道の路面電車で行う。路面電車を使った同様の試みは初めて。

箱に針穴をあけ外の様子を撮影するピンホールカメラの仕組みを応用。真っ暗にした車内の両側の窓にレンズ



「電車カメラ」会場になる路面電車車両内で打ち合わせをする三友さん（右端）

国民文化祭 おかやま 2010

を付け、中央通路に設置したスクリーンに車窓風景を映す。映像は上下逆さまになった建物や街路樹、人々が一つのスクリーンに映り、不思議体験ができるという。

RavProjectの三友周太さん(43)は「町の景色を変わった視点で見ること非日常を楽

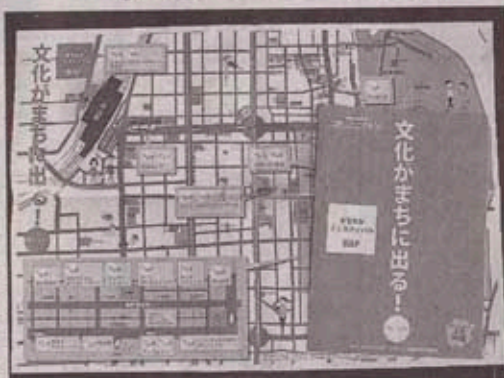
しんでもらいたい」と話す。

運行は30、31日とも午前11時から午後4時まで6本、岡山駅前電停を発車し東山電停間を往復する。運賃無料だが途中乗降できない。

1回の定員30人で両日とも午前10時から岡山駅前電停で整理券を配る。問い合わせはNPO法人まちづくり推進機構岡山（086-1803-3361）。（池葉須則夫）

市中心部での催し紹介

リーフレット製作
県民局など



県備前県民局などが製作したリーフレット

県備前県民局などはこの多い文化活動を「国民文化祭・おかやま2010」の期間中に岡山市中心部で開かれる「文化がまちに出る！プロジェクト」を企画した。（平松隆）

た。A3判四つ折り。市中心部で繰り広げられる「文化がまちに出る！プロジェクト」をまとめたリーフレットを作った。

ボランティアの「市居優」が出演し、県内各地で公演が予定されている。

週刊
OSU
ジャン